

## 教員免許状の取り方

### I 教員免許状の種類

本学部において取得できる教員免許状の種類は、以下のとおりである。

- 1 小学校教諭(1種又は2種)普通免許状
- 2 幼稚園教諭(1種又は2種)普通免許状
- 3 中学校教諭(1種又は2種)普通免許状  
(国語,社会,数学,理科,音楽,美術,保健体育,技術,家庭,英語)
- 4 高等学校教諭(1種)普通免許状  
(国語,書道,地理歴史,公民,数学,理科,音楽,美術,工芸,保健体育,工業,家庭,英語,情報)
- 5 特別支援学校教諭(1種又は2種)(知的障害者,肢体不自由者,病弱者)普通免許状

### II 教員免許状取得のための履修方法

教員免許状を取得するためには、教育職員免許法第5条,第5条の2別表第1(下表)に示す教員免許状の種類に応じて,所定の単位を修得するとともに,教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を修得しなければならない。

### III 教員免許状を申請する方法

教員免許状を申請する方法として,大学が事務を代行して行う「一括申請」(卒業時)と各人が直接申請する「個人申請」(卒業後)がある。

本学で定められた単位を修得した学生については,佐賀県教育委員会に教員免許状の「一括申請」を行うが,一括申請できなかった場合でも教育職員免許法により定められている単位数を修得することにより,教員免許状を取得できることがあるので,申請を希望する都道府県教育委員会へ問い合わせること。

教育職員免許法 別表第1(第5条,第5条の2関係)

第1欄		第2欄	第3欄			
所要資格		基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数			
教員免許状の種類			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	特別支援教育に関する科目
小学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	8	41	34	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	8	41	10	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	4	31	2	
中学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	20	31	32	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	20	31	8	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	10	21	4	
高等学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	20	23	40	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	20	23	16	
特別支援学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること及び小学校,中学校,高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				50
	一種免許状	学士の学位を有すること及び小学校,中学校,高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				26
	二種免許状	小学校,中学校,高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				16
幼稚園教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	6	35	34	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	6	35	10	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	4	27		

IV 教員免許状取得のために、本学部で修得すべき授業科目の履修方法について  
 なお、教育実習の履修に当たっては、「履修の手引」に示す所定の基準を満たしていなければならない。

1. 小学校教諭免許状を取得する場合の「教科に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単 位 数		備 考	
		1種	2種		
科 目					
国 語 (書写を含む。)	小学国語	①	1	○は必修科目	
	小学書写	①	1		
社 会	小学社会	②	2		
算 数	数学概説	②	2		
理 科	理科講義及び実験	②	2		
生 活	生活科概説	②	2		
音 楽	小学声楽	①	1		⑥
	小学ピアノ	①	1		
図画工作	小学図画	①	1		2
	小学工作	①	1		
家 庭	小学家庭Ⅰ	①	1		2
	小学家庭Ⅱ	①	1		
体 育	小学体育Ⅰ	①	1		2
	小学体育Ⅱ	①	1		
必要単位数		18	6		

2. 小学校教諭免許状を取得する場合の「教職に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単 位 数		備 考		
		1種	2種			
科 目						
教職の意義等に関する科目	教職概説	②	②	○は必修科目		
教育の基礎理論に関する科目	教育原論	②	②	※この授業科目は必修ではないが、履修することが望ましい。		
	教育思想史	2※				
	教育心理学	②				
	現代教育論	②	②			
教育課程及び指導法に関する科目	初等国語科教育法Ⅰ	①	1	2種における教育法の取り方 各教科のうち6以上の教科の指導法についてそれぞれ2単位以上。 ただし、音楽、図画工作、体育の教科の教育法のうちいずれか1教科、2単位以上を含むこと。		
	初等国語科教育法Ⅱ	①	1			
	初等社会科教育法Ⅰ	①	1		2	
	初等社会科教育法Ⅱ	①	1			
	算数科教育法Ⅰ	①	1		2	
	算数科教育法Ⅱ	①	1			
	初等理科教育法Ⅰ	①	1		2	
	初等理科教育法Ⅱ	1 } ①	1			
	初等理科教育法Ⅲ	1 } ①	1			
	生活科教育法	②			⑫	
	初等音楽科教育法Ⅰ	①	1			
	初等音楽科教育法Ⅱ	①	1			2
	図工科教育法Ⅰ	①	1			
	図工科教育法Ⅱ	①	1			2
	体育科教育法Ⅰ	①	1			
	体育科教育法Ⅱ	①	1			2
	初等家庭科教育法Ⅰ	①	1			
	初等家庭科教育法Ⅱ	①	1			2
	初等道德教育の理論と方法	②	②			
	初等特別活動の理論と方法	②	②			
初等授業実践論	②	②				
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	教育相談の理論と方法（初等）	②	②	生徒指導を含む。 進路指導を含む。		
	生徒・進路指導の理論と方法（初等）	②	②			
教育実習(事前・事後指導を含む。)	小学校教育実習	⑤	⑤			
教職実践演習	教職実践演習	②	②			
合 計		43	35			

3.小学校教諭免許状を取得する場合の「教科又は教職に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数		備考
		1種	2種	
教科又は教職に関する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	②	②	○は、小学校教育実習(5単位)の履修のための必修要件となっている。 「教科に関する科目」で1種については8単位を超えて修得した単位数、2種については4単位を超えて修得した単位数及び「教職に関する科目」で1種については41単位を超えて修得した単位数、2種については31単位を超えて修得した単位数を充てる。  ※この授業科目は必修ではないが、履修することが望ましい。
	教育実践フィールド演習Ⅱ	①	①	
	教育実践フィールド演習Ⅲ	①	①	
	小学校英語活動	2※	2※	
	人権教育論	2※	2※	
	教育評価	2※	2※	
	教育統計Ⅰ	2※	2※	
	発達神経心理学	2※	2※	
	合計		10	

4.「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり		
	1種	2種
合計	9	9

5.幼稚園教諭免許状を取得する場合の「教科に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数		備考
		1種	2種	
国語	小学国語	1	1 } 2	○は必修科目  2種は,単位のかかっているものから4単位を選択すること。
	小学書写	1		
算数	数学概説	2	2	
	生活科概説	2		
音楽	小学声楽	①	1 } 2	
	小学ピアノ	①		
	音楽基礎理論 I	②		
図画工作	小学図画	①	1	
	小学工作	①		
	幼児造形の研究	②		
体育	小学体育 I	①	1 } 2	
	小学体育 II	①		
	スポーツ I A1	①		
	スポーツ I C1	①		
必要単位数		16	4	

6.幼稚園教諭免許状を取得する場合の「教職に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数		備考
		1種	2種	
教職の意義等に関する科目	教職概説	②	②	○は必修科目 ※この授業科目は必修ではないが、履修することが望ましい。
教育の基礎理論に関する科目	教育原論	②	②	
	教育思想史	2※		
	教育心理学	②		
	現代教育論	②	②	
教育課程及び指導法に関する科目	幼児教育課程論	②	②	保育内容の単位のうち、半数までは、小学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合の各教科の教育法又は特別活動の指導法の単位をもってあてることができる。
	保育内容の研究(健康)	②	2	
	保育内容の研究(人間関係)	②	2	
	保育内容の研究(環境Ⅰ)	②	2	
	保育内容の研究(環境Ⅱ)	②	2	
	保育内容の研究(言葉)	②	2	
	保育内容の研究(表現Ⅰ)	②	2	
	保育内容の研究(表現Ⅱ)	②	2	
	初等授業実践論	②	②	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論と方法	②	
教育実習(事前・事後指導を含む。)	幼稚園教育実習	⑤	⑤	小学校教育実習の単位をもってこれにかえることができる。 ただし、小学校教育実習を履修した後に、幼稚園教育実習3単位を履修することが望ましい。
教職実践演習	教職実践演習	②	②	
合計		35	27	

7.幼稚園教諭免許状を取得する場合の「教科又は教職に関する科目」の履修方法

※ただし、幼稚園2種については、履修する必要はない。

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数		備考
		1種		
教科又は教職に関する科目	人権教育論	2※		※この授業科目は必修ではないが、履修することが望ましい。  「教科に関する科目」で6単位を超えて修得した単位数及び「教職に関する科目」で35単位を超えて修得した単位数を充てる。
	教育評価	2※		
	教育統計Ⅰ	2※		
合計		10		

8.「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり		
	1種	2種
合計	9	9

9. 中学校及び高等学校教諭免許状を取得する場合の履修方法

(1) 中学校, 高等学校(国語科)

「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数			備考
		中学校		高等学校	
		1種	2種	1種	
国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語音声学	②	②	②	○は必修科目 *は選択必修科目 (*から, 中学校は2単位, 高等学校は4単位を修得)
	日本語表現論	②	②	②	
	日本語要説	②	②	②	
	日本語文法論	2*		2*	
	日本語史	2*		2*	
国文学(国文学史を含む。)	日本近代文学論	②	②	②	
	日本古典文学論	②	②	②	
	日本文学史Ⅰ	2 } ②	2 } ②	2 } ②	
	日本文学史Ⅱ	2 }	2 }	2 }	
漢文学	中国思想史Ⅰ	②	②	②	
	中国文学史論	2 } ②	2 } ②	2 } ②	
	中国文学講義	2 }	2 }	2 }	
	中国文学演習Ⅰ	2*		2*	
	中国文学演習Ⅱ	2*		2*	
	中国思想史演習Ⅰ	2*		2*	
	中国思想史演習Ⅱ	2*		2*	
書道(書写を中心とする。)	書写Ⅰ	①	①		
	書写Ⅱ	①	①		
必要単位数		20	18	20	
選択科目	現代日本語論	2		2	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については, この欄の単位とすることができる。
	日本語学演習	2		2	
	日本語史演習Ⅰ	2		2	
	日本語史演習Ⅱ	2		2	
	日本近代文学演習Ⅰ	2		2	
	日本近代文学演習Ⅱ	2		2	
	日本古典文学演習Ⅰ	2	8	2	
	日本古典文学演習Ⅱ	2		2	
	中国思想史Ⅱ	2		2	
	楷書法	2			
	行草法	2			
	仮名法	2			
	篆隸法	2			
	書論	2			
計		8		16	

「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	31	25	23

「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	8	4	16

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	9	9	9

## (2)高等学校(書道科)

## 「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数	備考
		高等学校	
科目		1種	
書道(書写を含む。)	書写Ⅰ	①	○は必修科目
	書写Ⅱ	①	
	楷書法	②	
	行草法	②	
	仮名法	②	
	篆隸法	②	
	書道史	書道史	
「書論、鑑賞」	書論	②	
「国文学、漢文学」	日本古典文学論	②	
	日本近代文学論	②	
	日本文学史Ⅰ	2	
	日本文学史Ⅱ	2	
	中国思想史Ⅰ	2	
	中国文学史論	2	
必要単位数		20	
選択科目	日本近代文学演習Ⅰ	2	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については、この欄の単位とすることができる。
	日本近代文学演習Ⅱ	2	
	日本古典文学演習Ⅰ	2	
	日本古典文学演習Ⅱ	2	
	中国思想史Ⅱ	2	
	中国思想史演習Ⅰ	2	
	中国思想史演習Ⅱ	2	
	中国文学演習Ⅰ	2	
中国文学演習Ⅱ	2		
計		16	

## 「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり	
	高等学校
合計	23

## 「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり	
	高等学校
合計	16

## 「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり	
	高等学校
合計	9

(3)中学校(社会科)

「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等 科 目	授 業 科 目	単 位 数		備 考	
		中 学 校			
		1種	2種		
日本史及び外国史	日本史要説	②	②	○は必修科目 *は選択必修科目 (*から2単位を修得)	
	東洋史要説	②	②		
	西洋史要説	②	②		
	日本社会経済史	2*			
	日本近現代史	2*			
地理学(地誌を含む。)	人文地理学	②	②		
	自然地理学	②	②		
	世界地誌	②	②		
	日本の地理と風土	2*			
「法律学、政治学」	法学要論	2	2	}	
	政治学	2	2		②
	国際政治学要論	2*			
「社会学、経済学」	社会学要論	2	2	}	
	経済学要論	2	2		②
	国際経済論	2*			
「哲学、倫理学、宗教学」	倫理学要論	2	2	}	
	哲学要論Ⅰ	2	2		②
	哲学要論Ⅱ	2*			
必要単位数		20	18		
選択科目	日本史上の市(いち)と都市	2	}	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については、この欄の単位とすることができる。	
	文献資料・遺構にみる交流の考古学	2			
	古墳文化研究演習Ⅰ	2			
	古墳文化研究演習Ⅱ	2			
	東アジア国際関係史	2			
	日本前近代史演習Ⅰ	2			
	日本前近代史演習Ⅱ	2			
	日本近現代史演習Ⅰ	2			
	日本近現代史演習Ⅱ	2			
	日中交渉史	2			
	朝鮮史	2			
	東洋史演習Ⅰ	2			
	東洋史演習Ⅱ	2			
	中世ヨーロッパの国家と社会	2			
	近代ヨーロッパの国家と社会	2			
	イギリス政治史	2			
	近代ヨーロッパ社会史	2			
	西洋中世史演習Ⅰ	2			
	西洋中世史演習Ⅱ	2			
	西洋近代史演習Ⅰ	2			
	西洋近代史演習Ⅱ	2			
	都市システム論	2			
	集落実地調査	2			
	地理学フィールドワーク実習	2			
	国際社会の正義と秩序Ⅰ	2			
	国際社会の正義と秩序Ⅱ	2			
	国際連合論	2			
	東南アジアの国家と社会	2			
	東南アジアの国際関係論	2			
	東南アジア学演習Ⅰ	2			
	東南アジア学演習Ⅱ	2			
	現代欧米の法と政治Ⅰ	2			
	現代欧米の法と政治Ⅱ	2			
	国際関係論演習Ⅰ	2			
	国際関係論演習Ⅱ	2			
		8			



免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		中 学 校		
		1種	2種	
選択科目	法学演習Ⅰ	2		
	法学演習Ⅱ	2		
	欧米社会経済思想史Ⅰ	2		
	欧米社会経済思想史Ⅱ	2		
	欧米社会経済思想史演習Ⅰ	2		
	欧米社会経済思想史演習Ⅱ	2		
	市民社会と倫理	2		
	近代西洋思想	2		
	倫理学演習Ⅰ	2		
	倫理学演習Ⅱ	2		
	哲学要論Ⅲ	2		
	プラトン哲学Ⅰ	2		
	プラトン哲学Ⅱ	2		
	計	8		

「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	31	25

「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	8	4

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	9	9

(4) 高等学校(地理歴史科)

「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数	備考
		高等学校	
科目		1種	
日本史	日本史要説	②	○は必修科目 *は選択必修科目 (*から8単位を修得)
	日本社会経済史	2*	
	日本近現代史	2*	
	文献資料・遺構による交流の考古学	2*	
外国史	東洋史要説	②	
	西洋史要説	②	
	近代ヨーロッパ社会史	2*	
	東アジア国際関係史	2*	
人文地理学及び自然地理学	人文地理学	②	
	自然地理学	②	
	都市システム論	2*	
地誌	世界地誌	②	日本地誌を含む。
	日本の地理と風土	2*	
必要単位数		20	
選択科目	日本史上の市(いち)と都市	2	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については、この欄の単位とすることができる。
	古墳文化研究演習Ⅰ	2	
	古墳文化研究演習Ⅱ	2	
	日本前近代史演習Ⅰ	2	
	日本前近代史演習Ⅱ	2	
	日本近現代史演習Ⅰ	2	
	日本近現代史演習Ⅱ	2	
	日中交渉史	2	
	朝鮮史	2	
	東洋史演習Ⅰ	2	
	東洋史演習Ⅱ	2	
	中世ヨーロッパの国家と社会	2	
	近代ヨーロッパの国家と社会	2	
	イギリス政治史	2	
	西洋中世史演習Ⅰ	2	
	西洋中世史演習Ⅱ	2	
	西洋近代史演習Ⅰ	2	
	西洋近代史演習Ⅱ	2	
集落実地調査	2		
地理学フィールドワーク実習	2		
計		16	

「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり	
	高等学校
合計	23

「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり	
	高等学校
合計	16

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり	
	高等学校
合計	9

(5) 高等学校(公民科)

「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数		備考
		高等学校	1種	
「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法学要論	2	②	○は必修科目 *は選択必修科目 (*から14単位を修得)
	政治学	2		
	国際政治学要論	2*		
	国際連合論	2*		
	国際社会の正義と秩序Ⅰ	2*		
	国際社会の正義と秩序Ⅱ	2*		
「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	社会学要論	2	②	
	経済学要論	2		
	国際経済論	2*		
「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	倫理学要論	2	②	
	哲学要論Ⅰ	2		
	哲学要論Ⅱ	2*		
	市民社会と倫理	2*		
	近代西洋思想	2*		
必修単位数		20		
選択科目	東南アジアの国家と社会	2	16	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については, この欄の単位とすることができる。
	東南アジア国際関係論	2		
	東南アジア学演習Ⅰ	2		
	東南アジア学演習Ⅱ	2		
	現代欧米の法と政治Ⅰ	2		
	現代欧米の法と政治Ⅱ	2		
	国際関係論演習Ⅰ	2		
	国際関係論演習Ⅱ	2		
	法学演習Ⅰ	2		
	法学演習Ⅱ	2		
	欧米社会経済思想史Ⅰ	2		
	欧米社会経済思想史Ⅱ	2		
	欧米社会経済思想史演習Ⅰ	2		
	欧米社会経済思想史演習Ⅱ	2		
	朝鮮政治文化論	2		
	朝鮮現代政治史	2		
	倫理学演習Ⅰ	2		
	倫理学演習Ⅱ	2		
	哲学要論Ⅲ	2		
	プラトン哲学Ⅰ	2		
プラトン哲学Ⅱ	2			
計		16		

「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり	
	高等学校
合計	23

「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり	
	高等学校
合 計	16

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり	
	高等学校
合 計	9

(6)中学校,高等学校(数学科)

「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数			備考
		中学校		高等学校	
		1種	2種	1種	
代数学	代数学基礎Ⅰ	②	②	②	○は必修科目 *は選択必修科目 (*から10単位を修得)
	代数学基礎Ⅱ	2*		2*	
	代数学Ⅰ	2*		2*	
	代数学Ⅱ	2*		2*	
	代数学Ⅲ	2*		2*	
	代数学Ⅳ	2*		2*	
幾何学	幾何学基礎Ⅰ	②	②	②	
	幾何学基礎Ⅱ	2*		2*	
	幾何学Ⅰ	2*		2*	
	幾何学Ⅱ	2*		2*	
	幾何学Ⅲ	2*		2*	
	幾何学Ⅳ	2*		2*	
解析学	解析学基礎Ⅰ	②	②	②	
	解析学基礎Ⅱ	2*		2*	
	解析学Ⅰ	2*		2*	
	解析学Ⅱ	2*		2*	
	解析学Ⅲ	2*		2*	
	解析学Ⅳ	2*		2*	
「確率論、統計学」	確率論基礎	②	②	②	
	統計学基礎	2*		2*	
	確率論	2*		2*	
	統計学	2*		2*	
コンピュータ	コンピュータⅠ	②	②	②	
	コンピュータⅡ	2*		2*	
必要単位数		20	10	20	
選択科目	代数学研究基礎	2	2	2	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については、この欄の単位とすることができる。
	代数学領域研究Ⅰ	2	2	2	
	代数学領域研究Ⅱ	2	2	2	
	幾何学研究基礎	2	2	2	
	幾何学領域研究Ⅰ	2	2	2	
	幾何学領域研究Ⅱ	2	2	2	
	解析学研究基礎	2	2	2	
	解析学領域研究Ⅰ	2	2	2	
	解析学領域研究Ⅱ	2	2	2	
	統計学研究基礎	2	2	2	
	統計学領域研究Ⅰ	2	2	2	
	統計学領域研究Ⅱ	2	2	2	
	応用数学	2	2	2	
	コンピュータ研究基礎	2	2	2	
	コンピュータ領域研究Ⅰ	2	2	2	
コンピュータ領域研究Ⅱ	2	2	2		
計		8	4	16	

「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	31	25	23

「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	8	4	16

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	9	9	9

## (7) 中学校, 高等学校(理科)

## 「教科に関する科目」

免許法施行規則に 定める科目区分等 科目	授 業 科 目	単 位 数			備 考
		中学校		高等学校	
		1種	2種	1種	
物理学	物理学通論Ⅰ	①	1	①	○は必修科目
	物理学通論Ⅱ	①	1	①	
	物理学通論Ⅲ	①	1	①	
	物理学通論Ⅳ	①	1	①	
化学	化学通論Ⅰ	①	1	①	
	化学通論Ⅱ	①	1	①	
	化学通論Ⅲ	①	1	①	
	化学通論Ⅳ	①	1	①	
生物学	生物学通論Ⅰ	①	1	①	
	生物学通論Ⅱ	①	1	①	
	生物学通論Ⅲ	①	1	①	
	生物学通論Ⅳ	①	1	①	
地学	地学通論Ⅰ	①	1	①	
	地学通論Ⅱ	①	1	①	
	地学通論Ⅲ	①	1	①	
	地学通論Ⅳ	①	1	①	
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学基礎実験Ⅰ	①	①	1	
	物理学基礎実験Ⅱ			1	
化学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学基礎実験Ⅰ	1	1	1	
	環境化学実験Ⅰ	1	1	1	
	化学基礎実験Ⅱ			1	
	環境化学実験Ⅱ			1	
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物学基礎実験Ⅰ	1	1	1	
	生物学実験Ⅰ	1	1	1	
	生物学基礎実験Ⅱ			1	
	生物学実験Ⅱ			1	
地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地学基礎実験Ⅰ	1	1	1	
	地学実験Ⅰ	1	1	1	
	地学基礎実験Ⅱ			1	
	地学実験Ⅱ			1	
必要単位数		20	10	20	
選択科目	力学	2	2	2	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については、この欄の単位とすることができる。
	電磁気学	2	2	2	
	原子物理	2	2	2	
	固体物理	2	2	2	
	放射線科学	2	2	2	
	物質環境科学	2	2	2	
	無機化学	2	2	2	
	物理化学	2	2	2	
	有機化学	2	2	2	
	分析化学	2	2	2	
	植物分類学	2	2	2	
	動物生理学	2	2	2	
	生命科学	2	2	2	
	分子生物学	2	2	2	
	動物生態学	2	2	2	
	フィールド生物学	2	2	2	
	地球環境科学	2	2	2	
	進化古生物学	2	2	2	
	岩石鉱物学	2	2	2	
	天文学	2	2	2	
	地学巡検	2	2	2	
計		8	4	16	

「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	31	25	23

「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	8	4	16

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	9	9	9

## (8)中学校,高等学校(音楽科)

## 「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数			備考
		中学校		高等学校	
		1種	2種	1種	
科目					
ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ ソルフェージュⅡ	① ①	①	① ①	○は必修科目 *は選択必修科目 (*から3単位を修得)
声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 合唱 日本伝統音楽実習Ⅱ	① 1* 1* 1* 1* 1* 1* ① ①	①	① 1* 1* 1* 1* 1* ① ① ①	
器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ 器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 合奏 伴奏法Ⅰ 伴奏法Ⅱ 日本伝統音楽実習Ⅰ	① 1* 1* 1* 1* 1* 1* 1* 1* ① ① 1* ①	①	① 1* 1* 1* 1* 1* 1* 1* ① ① ① ① ①	
指揮法	指揮法Ⅰ 指揮法Ⅱ	① 1*	①	① ①	
音楽理論、作曲法(編曲法を含む。 )及び音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	音楽基礎理論Ⅱ 音楽理論演習Ⅰ 音楽理論演習Ⅱ 音楽理論演習Ⅲ 音楽理論演習Ⅳ 作曲法 編曲法 音楽史Ⅰ 音楽史Ⅱ 日本・民族音楽概説	① 1* 1* 1* 1* ① ① ② 2* ②	①	① 1* 1* 1* 1* ① ① ② 2* ②	
必要単位数		20	16	20	
選択科目	音楽学課題研究 音楽教育実践論	1 } 2 } 8		1 } 2 } 16	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については、この欄の単位とすることができる。
計		8		16	

## 「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり				
	中学校1種	中学校2種	高等学校	
合計	31	25	23	



「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	8	4	16

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	9	9	9

## (9)中学校,高等学校(美術科)

## 「教科に関する科目」

免許法施行規則に 定める科目区分等	授 業 科 目	単 位 数			備 考
		中学校		高等学校	
		1種	2種	1種	
科目					
絵画(映像メディア表現を含む。)	素描Ⅰ	②		②	○は必修科目 *は選択必修科目 (*から2単位を修得)
	日本画	②	②	②	
	西洋画	②		②	
彫刻	彫刻	②	2	②	
	基礎彫刻	2*	2	②	
デザイン(映像メディア表現を含む。)	デザイン	②	②	②	
	基礎デザイン	2*		②	
	総合デザイン	2*		②	
工芸	窯芸	②	2		
	木工工芸	②	2	②	
	染織工芸	②	2		
美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジアの美術を含む。)	世界の美術	②	②	②	
	総合美術理論	2*		②	
必要単位数		20	10	20	
選択科目	素描Ⅱ	2	2	2	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については、この欄の単位とすることができる。 ただし、窯芸、木工工芸、染織工芸の授業科目は、高等学校のこの欄の科目としては使用できないので注意すること。
	素描Ⅲ	2	2	2	
	基礎日本画	2	2	2	
	応用日本画	2	2	2	
	日本画特別実習	2	2	2	
	基礎西洋画	2	2	2	
	応用西洋画	2	2	2	
	西洋画特別実習	2	2	2	
	応用彫刻	2	2	2	
	彫刻特別実習	2	2	2	
	応用デザイン	2	2	2	
	デザイン特別実習	2	2	2	
	グラフィックス	2	2	2	
	応用美術理論	2	2	2	
	基礎美術理論演習	2	2	2	
	応用美術理論演習	2	2	2	
	総合美術理論演習	2	2	2	
	日本画概論	2	2	2	
	彫刻概論	2	2	2	
	美術理論特別講義	2	2	2	
	基礎窯芸	2	2	2	
	応用窯芸	2	2	2	
	窯芸特別実習	2	2	2	
	陶磁特別演習Ⅰ	2	2	2	
	陶磁特別演習Ⅱ	2	2	2	
	基礎木工工芸	2	2	2	
	応用木工工芸実習	2	2	2	
	木工工芸特別実習	2	2	2	
	金工工芸	2	2	2	
	基礎金工工芸	2	2	2	
	応用金工工芸Ⅰ	2	2	2	
	応用金工工芸Ⅱ	2	2	2	
	総合金工工芸	2	2	2	
	金工工芸特別実習	2	2	2	
基礎染織工芸	2	2	2		
応用染織工芸Ⅰ	2	2	2		
応用染織工芸Ⅱ	2	2	2		
染織工芸特別実習	2	2	2		
計		8	4	16	

「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	31	25	23

「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	8	4	16

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	9	9	9

(10)高等学校(工芸科)

「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		高等学校		
科 目		1種		
図法及び製図	図法Ⅰ	②		○は必修科目 *は選択必修科目 (*から2単位を修得)
	製図	②		
デザイン	デザイン	②		
	基礎デザイン	2*		
	総合デザイン	2*		
工芸製作(プロダクト製作を含む。)	窯芸	②		
	木工工芸	②		
	金工工芸	2*		
	染織工芸	②		
工芸理論、デザイン理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)	デザイン理論	②		
	工芸理論	②		
	世界の美術	②		
必要単位数		20		
選択科目	図法Ⅱ	2	} 16	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については、この欄の単位とすることができる。
	応用デザイン	2		
	デザイン特別実習	2		
	グラフィックス	2		
	基礎窯芸	2		
	応用窯芸	2		
	窯芸特別実習	2		
	陶磁特別演習Ⅰ	2		
	陶磁特別演習Ⅱ	2		
	基礎木工工芸	2		
	応用木工工芸実習	2		
	木工工芸特別実習	2		
	基礎金工工芸	2		
	応用金工工芸Ⅰ	2		
	応用金工工芸Ⅱ	2		
	総合金工工芸	2		
	金工工芸特別実習	2		
	基礎染織工芸	2		
	応用染織工芸Ⅰ	2		
	応用染織工芸Ⅱ	2		
染織工芸特別実習	2			
窯芸概論	2			
木工工芸総論	2			
金工工芸概論	2			
染織工芸概論	2			
計		16		

「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり	
	高等学校
合 計	23

「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり	
	高等学校
合 計	16

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり	
	高等学校
合 計	9

(11)中学校,高等学校(保健体育科)

「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数			備考	
		中学校		高等学校		
		1種	2種	1種		
体育実技	スポーツⅠA2	1	1	1	A1体づくり運動(体操) A2体操競技 A3水泳 A4陸上競技 B1バスケットボール B2サッカー B3バレーボール B4ラグビー C1ダンス C2テニス C3柔道 C4剣道 D1スキー D3ゴルフ D4野外活動	
	スポーツⅠA3	1	1	1		
	スポーツⅠA4	1	1	1		
	スポーツⅠB1	1	1	1		
	スポーツⅠB2	1	1	1		
	スポーツⅠB3	1	1	1		
	スポーツⅠB4	1	1	1		
	スポーツⅠC2	1	1	1		
	スポーツⅠC3	1	1	1		
	スポーツⅠC4	1	1	1		
	スポーツⅠD1	1	1	1		
	スポーツⅠD3	1	1	1		
	スポーツⅠD4	1	1	1		
	スポーツⅡA1	1		1		
	スポーツⅡA2	1		1		
	スポーツⅡA3	1		1		
	スポーツⅡA4	1		1		
	スポーツⅡB2	1		1		
	スポーツⅡB3	1		1		
	スポーツⅡC1	1		1		
	スポーツⅡC3	1		1		
	「体育原理、体育心理学、 体育経営管理学、体育社会学、 体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)	運動学	②	②		②
		体育原理	2	2		2
スポーツ心理学		2	2	2		
スポーツ経営学		2	2	2		
スポーツ社会学		2	2	2		
生理学(運動生理学を含む。)	解剖・生理学	②	②	②		
衛生学及び公衆衛生学	衛生・公衆衛生学	②	②	②		
学校保健(小児保健、精神 保健、学校安全及び救急処 置を含む。)	学校保健	②	②	②		
	精神保健	2		2		
	安全教育	2		2		
	救急処置	2		2		
必要単位数	20	12	20			
選択科目	トレーニング理論・実習	2	2	2	上欄で必要単位数を 超えて修得した単位に ついては、この欄の単位 とすることができる。	
	スポーツ測定評価	2	2	2		
	スポーツ工学	2	2	2		
	運動処方	2	2	2		
	スポーツ医学	2	2	2		
	健康教育概論	2	2	2		
	健康教育各論(性教育)	2	2	2		
	トレーニング科学	2	2	2		
	運動生理学	2	2	2		
	計	8	2	16		

「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	31	25	23

「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	8	4	16

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	9	9	9

## (12)中学校(技術科)

## 「教科に関する科目」

免許法施行規則に 定める科目区分等 科目	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		中 学 校		
		1種	2種	
木材加工(製図及び実習を含む。)	生活機器製図概論	②	②	○は必修科目
	木工工芸概論	②	②	
	応用木工工芸	②	②	
金属加工(製図及び実習を含む。)	金属加工学	②	②	
機械(実習を含む。)	機械工学実習	②	②	
	福祉メカトロニクスⅠ	②	②	
電気(実習を含む。)	ヒューマンエレクトロニクスⅠ	②	②	
	電気基礎実習	②	②	
栽培(実習を含む。)	栽培学	②	②	
情報とコンピュータ(実習を含む。)	環境情報処理論	②	②	
	プログラミング演習Ⅰ	②	②	
必要単位数		22	22	
選択科目	生活環境電磁気学	2	6	
	回路理論	2		
	電気数学	2		
	工業力学	2		
	ヒューマンエレクトロニクスⅡ	2		
	ヒューマンエレクトロニクス実験	2		
	エネルギー環境論	2		
	流体工学	2		
	環境電気機器概論	2		
	環境電気機器実験	2		
	環境システム制御	2		
	福祉メカトロニクスⅡ	2		
	福祉メカトロニクス実験	2		
	プログラミング演習Ⅱ	2		
計		6		

## 「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	31	25

## 「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	8	4

## 「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	9	9

## (13)高等学校(工業)

## 「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授 業 科 目	単 位 数	備 考
		高等学校	
		1種	
工業の関係科目	生活環境電磁気学	②	○は必修科目
	電気基礎実習	②	
	ヒューマンエレクトロニクスⅠ	②	
	ヒューマンエレクトロニクス実験	②	
	福祉メカトロニクスⅠ	②	
	エネルギー環境論	②	
	機械工学実習	②	
	環境情報処理論	②	
	プログラミング演習Ⅰ	②	
職業指導	職業指導	②	
必要単位数		20	
選択科目	電気数学	2	16
	回路理論	2	
	工業力学	2	
	ヒューマンエレクトロニクスⅡ	2	
	環境電気機器概論	2	
	環境電気機器実験	2	
	環境システム制御	2	
	福祉メカトロニクス実験	2	
	住環境材料工学	2	
	流体工学	2	
	プログラミング演習Ⅱ	2	
	福祉メカトロニクスⅡ	2	
計		16	

## 「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり	
	高等学校
合 計	23

## 「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり	
	高等学校
合 計	16

## 「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり	
	高等学校
合 計	9



## (14)中学校,高等学校(家庭科)

## 「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授 業 科 目	単 位 数			備 考
		中学校		高等学校	
		1種	2種	1種	
家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	現代社会の家族	②	②	②	○は必修科目
被服学(被服製作実習を含む。)	生活経済学	②	②	②	
	被服学	②	②	②	
	服飾文化論	2	2	2	
	被服衛生学	2	2	2	
食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	衣生活材料学	2	2	2	
	食物学	②	②	②	
	栄養学	②		②	
住居学(製図を含む。)	食品学	②		②	
	住宅デザイン論	②	②	②	
保育学(実習及び家庭看護を含む。)	保育学Ⅰ	②	②	②	
	家庭電気・機械及び情報処理			②	
必要単位数	生活環境機器 情報処理演習ⅡA			②	
		20	14	22	
選択科目	生活経営論	2		2	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については、この欄の単位とすることができる。ただし、生活環境機器及び情報処理演習ⅡAの授業科目は中学校のこの欄の科目としては使用できないので注意すること。
	老年家族学	2		2	
	被服衛生学演習	2		2	
	服飾制作実習	2		2	
	服飾制作基礎実習	2		2	
	食品・栄養学実験	2		2	
	調理文化論	2	8	2	
	調理学実験	2		2	
	食生活実習	2		2	
	フードコーディネイト実習	2		2	
	生活環境化学	2		2	
	生活環境デザイン	2		2	
保育学Ⅱ	2		2		
計		8		14	

## 「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり				
	中学校1種	中学校2種	高等学校	
合 計	31	25	23	

## 「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり				
	中学校1種	中学校2種	高等学校	
合 計	8	4	16	

## 「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり				
	中学校1種	中学校2種	高等学校	
合 計	9	9	9	

(15)中学校, 高等学校(英語科)

「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数			備考
		中学校		高等学校	
		1種	2種	1種	
英語学	英語学概論Ⅰ	②	②	②	○は必修科目  1～Ⅳの授業科目 科目については番号の 順に履修することが 望ましい。
	英語音声学Ⅰ	2		2	
	英語音声学演習Ⅰ	1		1	
	英語学演習Ⅰ	1	③	1	
	英語史Ⅰ	2		2	
	英文法演習Ⅰ	1		1	
英米文学	近代欧米文学論Ⅰ	②	②	②	
	英米文学講読Ⅰ	1		1	
	英米文学講読Ⅱ	1		1	
	英文学演習Ⅰ	1	③	1	
	英文学演習Ⅱ	1		1	
	英文学史Ⅰ	2		2	
英語コミュニケーション	異文化間コミュニケーション論	②	②	②	
	英語オーラルコミュニケーションⅠ	1	1	1	
	英語オーラルコミュニケーションⅡ	1	1	1	
	英語オーラルコミュニケーションⅢ	1	1	1	
	英語パブリックスピーキングⅠ	1	②	1	
	英語パブリックスピーキングⅡ	1	1	1	
	英語論文構成Ⅰ	1	1	1	
	英語論文構成Ⅱ	1	1	1	
異文化理解	欧米文化論	②	②	②	
	英米文化事情Ⅰ	1		1	
	欧米文化論演習Ⅰ	1	②	1	
	欧米文化論演習Ⅱ	1		1	
	異文化理解Ⅰ	1		1	
必要単位数	20	10	20		
選択科目	英語学概論Ⅱ	2	2	2	上欄で必要単位数を超えて修得した単位については、この欄の単位とすることができる。 この欄の単位数の半分以上は演習の科目でなければならない。
	英語学演習Ⅱ	1	1	1	
	英語学演習Ⅲ	1	1	1	
	英語史Ⅱ	2	2	2	
	英語音声学Ⅱ	2	2	2	
	英語音声学演習Ⅱ	1	1	1	
	英語音声学演習Ⅲ	1	1	1	
	英文法演習Ⅱ	1	1	1	
	英文法演習Ⅲ	1	1	1	
	英米文学講読Ⅲ	1	1	1	
	英米文学講読Ⅳ	1	1	1	
	近代欧米文学論Ⅱ	2	4	2	
	英文学史Ⅱ	2	2	2	
	英文学演習Ⅲ	1	1	1	
	英米文化事情Ⅱ	1	1	1	
	欧米文化論演習Ⅲ	1	1	1	
	欧米文化論演習Ⅳ	1	1	1	
	英作文演習Ⅰ	1	1	1	
	英作文演習Ⅱ	1	1	1	
	日英異文化コミュニケーションⅠ	2	2	2	
	日英異文化コミュニケーションⅡ	2	2	2	
異文化理解Ⅱ	1	1	1		
異文化理解Ⅲ	1	1	1		
計	8	4	16		

「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	31	25	23

「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	8	4	16

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	9	9	9

(16)高等学校(情報)

「教科に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数	備考
		高等学校	
科目		1種	
情報社会及び情報倫理	情報社会と倫理	②	○は必修科目
コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	コンピュータハードウェア コンピュータ演習Ⅰ	② ②	
情報システム(実習を含む。)	情報システム論 情報システム演習Ⅰ	② ②	
情報通信ネットワーク(実習を含む。)	情報ネットワーク論Ⅰ 情報ネットワーク演習Ⅰ	② ②	
マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	情報メディア論 マルチメディアを用いた図形処理	② ②	
情報と職業	情報と職業	②	
必要単位数		20	
選択科目	コンピュータソフトウェア コンピュータ演習Ⅱ 計測・制御実験 情報システム演習Ⅱ 統計情報システム プログラミング表現 情報ネットワーク論Ⅱ 情報ネットワーク演習Ⅱ Web表現 計算機シミュレーション 画像解析 デジタル画像論 映像・デジタル表現Ⅰ 映像・デジタル表現Ⅱ 映像・デジタル表現Ⅲ 映像・デジタル表現Ⅳ 映像表現 デジタルメディア・デザイン 教育デジタル表現 インストラクショナル・デザイン	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
計		16	

「教職に関する科目」

別表Ⅰのとおり	
	高等学校
合計	23

「教科又は教職に関する科目」

別表Ⅱのとおり	
	高等学校
合計	16

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅲのとおり	
	高等学校
合計	9

10.特別支援学校教諭免許状(知的障害者に関する教育の領域,肢体不自由者に関する教育の領域及び病弱者に関する教育の領域)を取得する場合,特別支援教育に関する科目の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分	単位数 一 種	単位数 二 種	左記に対応する開設 授 業 科 目	一 種		二 種		
				単位数		単位数		
				免許必修	選択	免許必修	選択	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	2	障害児教育総論	2		2		A
知的障害者に関する教育の領域	1 2 4	1 1 4	知的障害児心理学	2		2		B
			知的障害者の生理・病理		*2			
			知的障害教育	2		2		
			障害児学習指導法Ⅰ	2		2		
			障害者心理治療法	2		2		
障害児心理検査法				*2				
知的障害児心理学演習				*2				
肢体不自由者に関する教育の領域	1 2	1 1	肢体不自由者の生理・病理	2		2		C
			障害児学習指導法Ⅱ	2		2		
病弱者に関する教育の領域	1 2	1 1	病弱者・情緒障害者の生理・病理	2		2		D
			障害児学習指導法Ⅲ	2		2		
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	3	障害児心理学	2		2		E
			視覚障害者の生理・病理		*2			
			聴覚障害者の生理・病理		*2			
			LD等教育指導論	2		2		
			重複障害教育論	2		2		
			聴覚障害者教育指導論		*2			
			特別支援学校参観		*1			
障害児心理学実験				*1				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	3	障害児教育実習	3		3		F
合 計	26	16		27				

① 領域や一種,二種に限らずA,E,Fは,必修科目を必ずとらなければならない。

② 領域(知的障害者,肢体不自由者,病弱者)については,下記のとおり取得しなければならない。

ア) 一種の場合(一種の欄を見ること。)

・3領域の場合は,B,C,Dの必修科目すべてを取得しなければならない。

・2領域の場合は,B(必修8単位及び選択4単位)を取得し,C(4単位)またはD(4単位)を取得しなければならない。

イ) 二種の場合(二種の欄を見ること。)

・3領域の二種はない。

・2領域の場合は,B(必修8単位)とC(4単位),B(必修8単位)とD(4単位)または,C(4単位)とD(4単位)を取得しなければならない。

・1領域の場合は,Bの必修8単位を取得しなければならない。

別表Ⅰ 中学校及び高等学校教諭免許状を取得する場合の「教職に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数			備考
		中学校		高等学校	
		1種	2種	1種	
教職の意義等に関する科目	教職概説	②	②	②	
教育の基礎理論に関する科目	教育原論 教育思想史 教育心理学 現代教育論	② 2※ ② ②	②   ②	② 2※ ② ②	○は必修科目 ※この授業科目は必修ではないが、履修することが望ましい。
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法は、次の別表Ⅰaに示した。 道徳教育の理論と方法 特別活動の理論と方法 教育方法学概説 授業実践論 視聴覚教育	6以上 ② ② 2 } ② 2 } ② 2※	2以上 ② ② 2 } ② 2 } ② 2※	2以上   ② ② 2※	
生徒指導、教育相談および進路指導等に関する科目	生徒指導論 教育相談の理論と方法(進路指導を含む。)(中等)	② ②	② ②	② ②	
教育実習(事前・事後指導を含む。)	中学校教育実習 高等学校教育実習	⑤	⑤	③	中学校教育実習を履修した場合は、高等学校教育実習を履修する必要はない。 ただし、情報は除く。
教職実践演習	教職実践演習	②	②	②	
合計		31以上	25以上	23以上	

別表 I a 各教科の指導法

教 科	授 業 科 目	単 位	単 位 数		高等学校	備 考
			中 学 校			
			1種	2種		
国 語 科	中等国語科教育法Ⅰ	2	②	②	②	
	中等国語科教育法Ⅱ	2	②		2	②
	中等国語科教育法Ⅲ	2	②		2	
	国語科教育学	2			2	
	国語教育学演習	2				
	計		6	2	4	
社 会 科	中等社会科教育法Ⅰ(社会・地歴)	2	②	2	②	地歴
	中等社会科教育法Ⅱ(社会・地歴)	2	②	2	②	
	中等社会科教育法Ⅲ(社会・公民)	2	2	2	②	公民
	中等社会科教育法Ⅳ(社会・公民)	2	2	2	②	
	社会科教育学	2				
	社会科教育学演習	2				
計		6	4	4		
数 学 科	数学科教育法Ⅰ	2	②	②	②	
	数学科教育法Ⅱ	2	②			
	数学科教育法Ⅲ	2	②			
	数学教育学	2				
	数学教育学演習	2				
計		6	2	2		
理 科	中等理科教育法Ⅰ	1	①	①	①	
	中等理科教育法Ⅱ	1	①			
	中等理科教育法Ⅲ	1	1	1	1	①
	中等理科教育法Ⅳ	1	1	1	1	
	中等理科教育法Ⅴ	1	1	1	1	
	中等理科教育法Ⅵ	1	1	1	1	
	理科教育学	2	2			
	理科教育学演習	2				
	理科教育学実験	2				
計		6	2	2		
音 楽 科	中等音楽科教育法Ⅰ	2	②	②	②	
	中等音楽科教育法Ⅱ	2	②			
	音楽教育学	2	②			
	音楽教育学演習	2				
計		6	2	2		
美 術 科	中等美術科教育法Ⅰ	2	②	②	②	
	中等美術科教育法Ⅱ	2	②			
	中等美術科教育法Ⅲ	2	②			
	美術教育学	2				
	美術教育学演習	2				
計		6	2	2		
保 健 体 育 科	保健体育科教育法Ⅰ	2	②	②	②	
	保健体育科教育法Ⅱ	2	②			
	保健体育科教育法Ⅲ	2	②			
	保健体育教育学	2				
	保健体育教育学演習	2				
計		6	2	2		
家 庭 科	中等家庭科教育法Ⅰ	2	②	②	②	
	中等家庭科教育法Ⅱ	2	②			
	中等家庭科教育法Ⅲ	2	②			
	家庭科教育学	2				
	家庭科教育学演習	2				
計		6	2	2		

教 科	授 業 科 目	単 位	単 位 数		高等学校	備 考
			中 学 校			
			1種	2種		
技 術 科	技術科教育法Ⅰ	2	②	②	/	
	技術科教育法Ⅱ	2	②			
	技術教育学	2	2	②		
	技術教育学演習	2	2			
	計		6	2		
英 語 科	英語科教育法Ⅰ	2	②	②	/	
	英語科教育法Ⅱ	2	②	2		
	英語科教育法Ⅲ	2	2	②		
	英語教育学	2	2			
	英語教育学演習	2	2	2		
計		6	2	4		
書 道 科	書道科教育法Ⅰ	2	/	②		
	書道科教育法Ⅱ	2				
計				2		
工 芸 科	工芸科教育法Ⅰ	2	/	②		
	工芸科教育法Ⅱ	2				
計				2		
工 業 科	工業科教育法Ⅰ	2	/	②		
	工業科教育法Ⅱ	2				
計				2		
情 報 科	情報科教育法Ⅰ	2	/	②		
	情報科教育法Ⅱ	2		②		
計				4		



別表Ⅱ 中学校及び高等学校教諭免許状を取得する場合の「教科又は教職に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数			備考
		中学校		高等学校	
		1種	2種	1種	
	人権教育論 教育評価 教育統計Ⅰ	2※ 2※ 2※	2※ 2※ 2※	2※ 2※ 2※	※この授業科目は必修ではないが、履修することが望ましい。 最低修得単位数を超えて修得した「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」を充てる。 最低修得単位数は以下のとおりとする。 ●「教科に関する科目」 中学校1種:20単位 中学校2種:10単位 高等学校1種:20単位  ●「教職に関する科目」 中学校1種:31単位 中学校2種:21単位 高等学校1種:23単位
合計		8	4	16	

別表Ⅲ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備考
		授業科目	単位数		
科目	単位数			必修	選択
日本国憲法	2	日本国憲法	2		※基本教養科目として開設
体育	2	スポーツ実習Ⅰ スポーツ実習Ⅱ	1 1		
外国語 コミュニケーション	2	英語A 英語B 英語C 英語D ドイツ語Ⅰa ドイツ語Ⅰb ドイツ語Ⅱa ドイツ語Ⅱb フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb フランス語Ⅱa フランス語Ⅱb 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb 朝鮮語Ⅱa 朝鮮語Ⅱb		1 1	2単位以上選択必修
情報機器の操作	2	情報基礎概論 情報基礎演習Ⅰ	2 1		